

これからの探究的な学習と 学習評価の在り方

早稲田大学
田中博之

自らの人生を舵取りする力 と 民主的で持続可能な社会の創り手 育成 (今後の検討イメージ)

「好き」を育み、「得意」を伸ばす
(興味・関心)

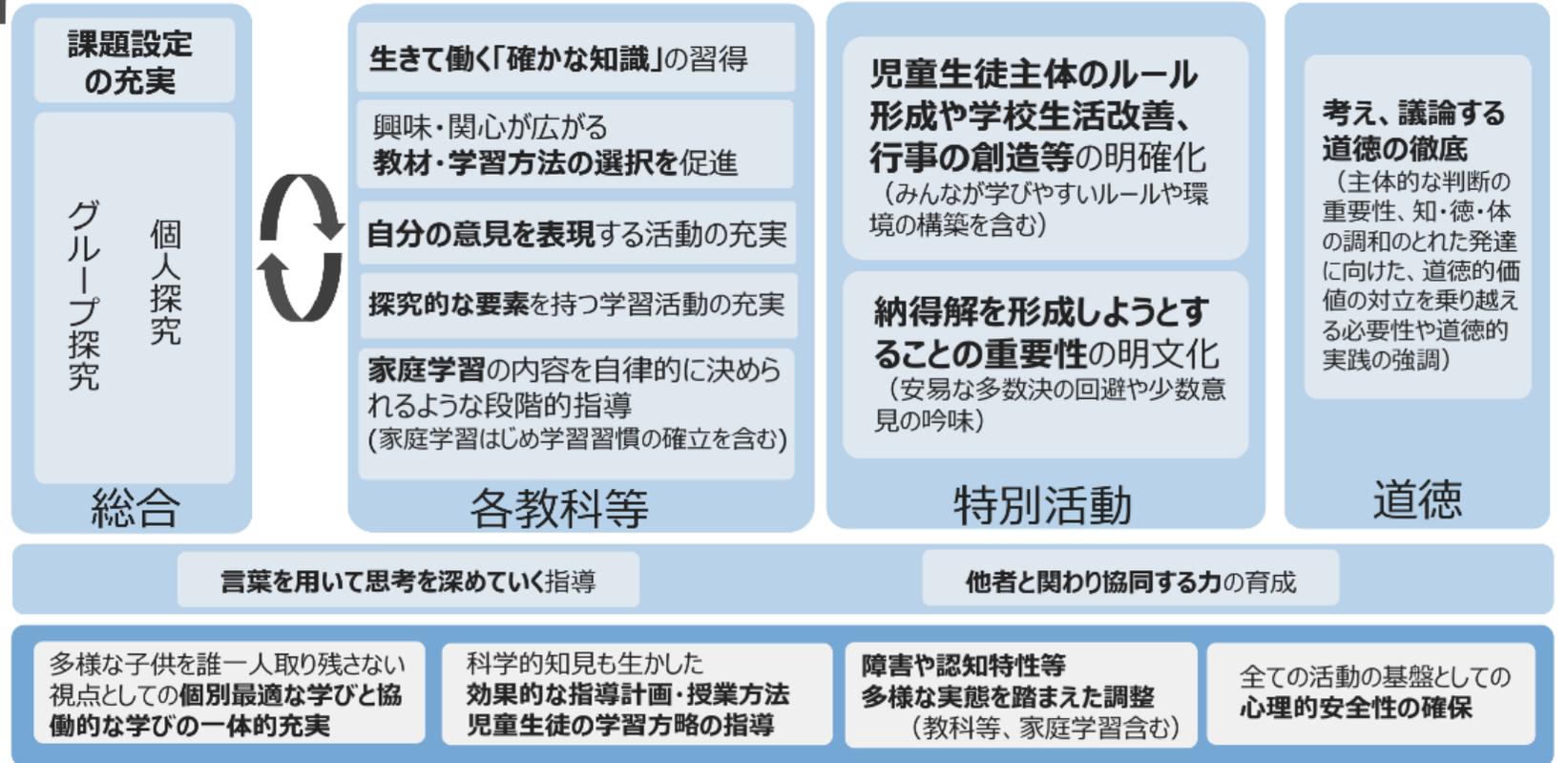


当事者意識を持って、自分の意見を
形成し、対話と合意ができる

【各教科等での検討イメージ】

好き・得意をベースとした
主体的な進路選択の促進

高
中
小
幼



学びをデザインする高度専門職としての教師 「裁量的な時間」をはじめ柔軟な教育課程による余白

デジタル学習基盤をはじめとする基盤整備 総合的な勤務環境整備

※本イメージ図は、自らの人生を舵取りする力と民主的で持続可能な社会の創り手育成という今後の検討の一部を資料化したものであり、学習指導要領の改訂に関わる全ての要素を網羅する性質のものではない

探究的な学び

- ▶ 生徒自ら探究課題を設定し、主体的・協働的に課題を解決して自己成長につなげ、多様な探究力を身に付ける課題解決的な学習

(特徴)

- ① 問題意識を持ち解決策が明確でない課題について自ら問いを設定する
- ② 自律的な学習を行う
- ③ 課題解決や仮説検証、創作表現を行う
- ④ 主体的な資料の探索と検証をする
- ⑤ 多様な学び方を学ぶ
- ⑥ 概念化と具体化の往復をする
- ⑦ 自己や社会と関連づけて価値付ける
- ⑧ 自己修正、自己評価、学習改善をする
- ⑨ 自己形成、自己成長を推進する
- ⑩ 新しい探究課題を設定する

探究的な学習の定義

主体的

自ら課題を発見し、解決に向けて積極的に取り組む姿勢です。

協働的

他者との対話を通じて多様な視点を取り入れ、共に学びを深めます。

創造的

新たな価値を生み出す思考を育み、自己の考えを広げていきます。

探究的な学習とは、課題の発見・解決に向けた探究力を身に付ける目標達成的な学習プロセスです。



探究的な学びの特徴

問いの設定

問題意識を持ち自ら問いを設定する

自己成長

自己評価と改善を繰り返し成長する

自律的探究

主体的な資料の探索と検証をする

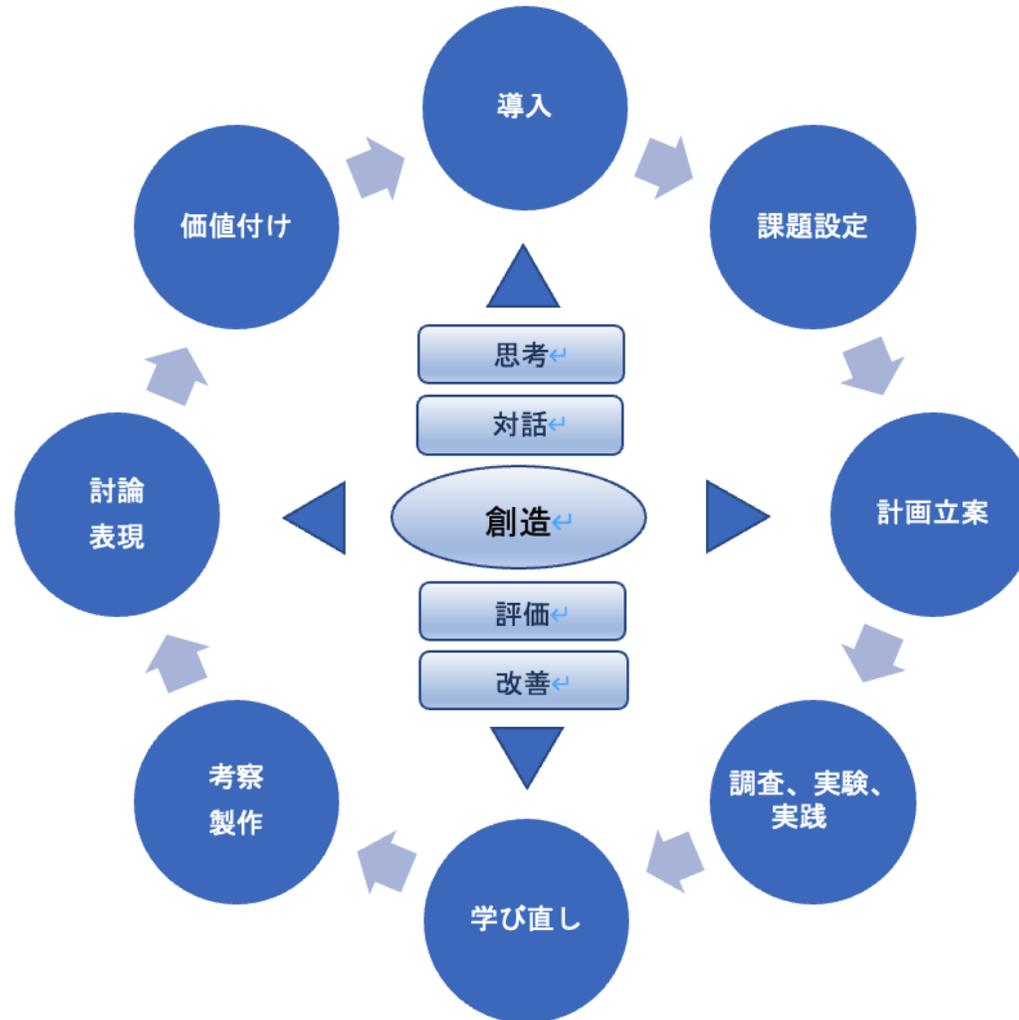
課題解決

仮説検証を行い解決策を模索する



生徒自ら探究課題を設定し、多様な探究力を身に付ける過程です。

探究的な学習の活動系列モデル



教科学習への応用

言語・表現系

- 国語：創作表現、討論会、スピーチ
- 英語：英語劇、スピーチ、創作表現

論理・科学系

- 数学：証明、論証、問題の解き合い
- 理科：仮説検証、実験・観察、レポート作成

社会・芸術系

- 社会：調査研究、研究発表
- 音楽・美術：創作表現、自由課題

各教科の核となる活動を通して探究的な学びを実践できます。



深い問い（探究課題）の条件

 **知識の活用と統合**
既有知識と新しい資料を組み合わせて考察する問いです。

 **多角的考察**
多面的・多角的な考察をうながす問いです。

 **因果関係の解明**
原因や因果関係、与えた影響の解明をうながす問いです。

 **抽象化と一般化**
複数の知識や事実を組み合わせて法則を発見する問いです。

単なる事実確認ではなく、深い思考を促す問いが探究的な学習には不可欠です。

探究力の育成 1（主体性と協働性）



自分から進んで取り組む力
主体性の育成



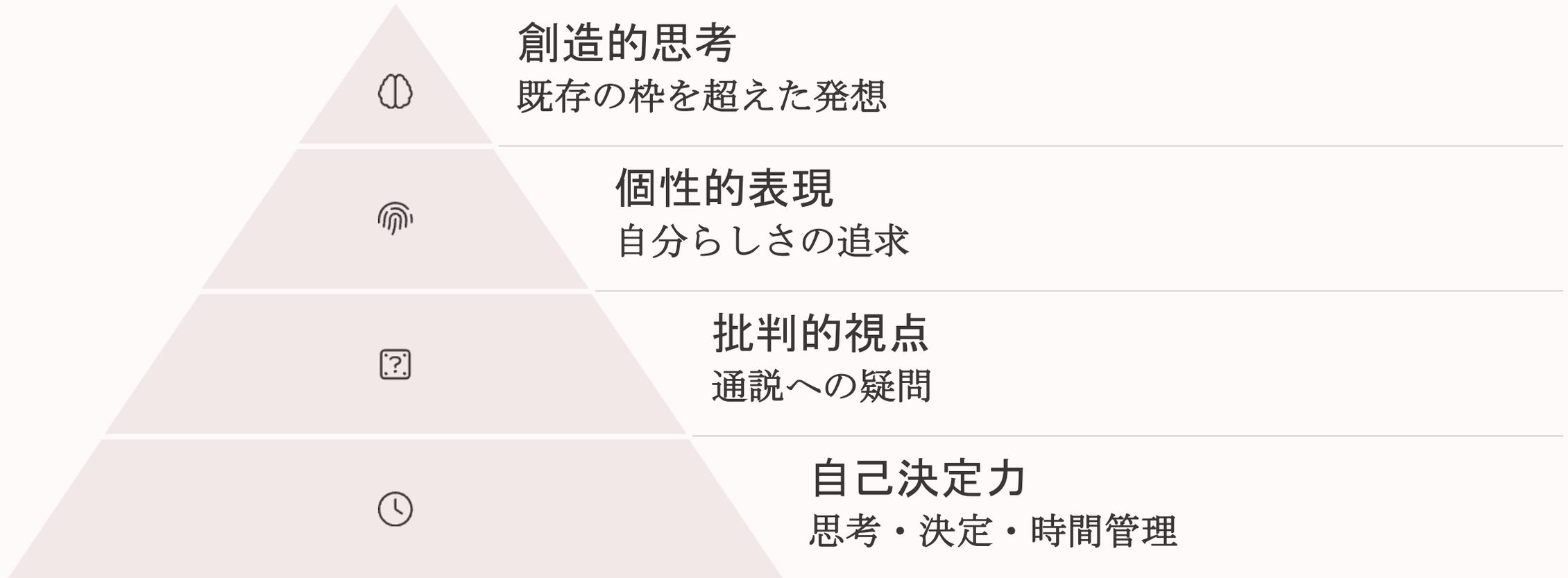
友だちと協力する力
協働性の育成



自分らしく表現する力
創造性の育成

主体性では自ら目標を設定し、積極的に意見を出し、計画に沿って実行します。
協働性では対話を通じた相互理解、協力して課題に取り組む姿勢を育みます。

探究力の育成 2 (創造性と自己決定力)



創造性では新しいアイデアや工夫を常に考え、自分らしい表現を追求します。
自己決定力では根拠に基づいた思考、自分の考えで決める力を育てます。



探究力の育成 3（問題解決力と自己成長力）



問題解決力

様々な角度から解決策を模索し、既存知識を活用して探究します。



価値付与力

概念を定義して活用し、探究課題の社会的価値を明確にします。



自己成長力

学習方法を反省し改善しながら、自己評価を通じて成長します。

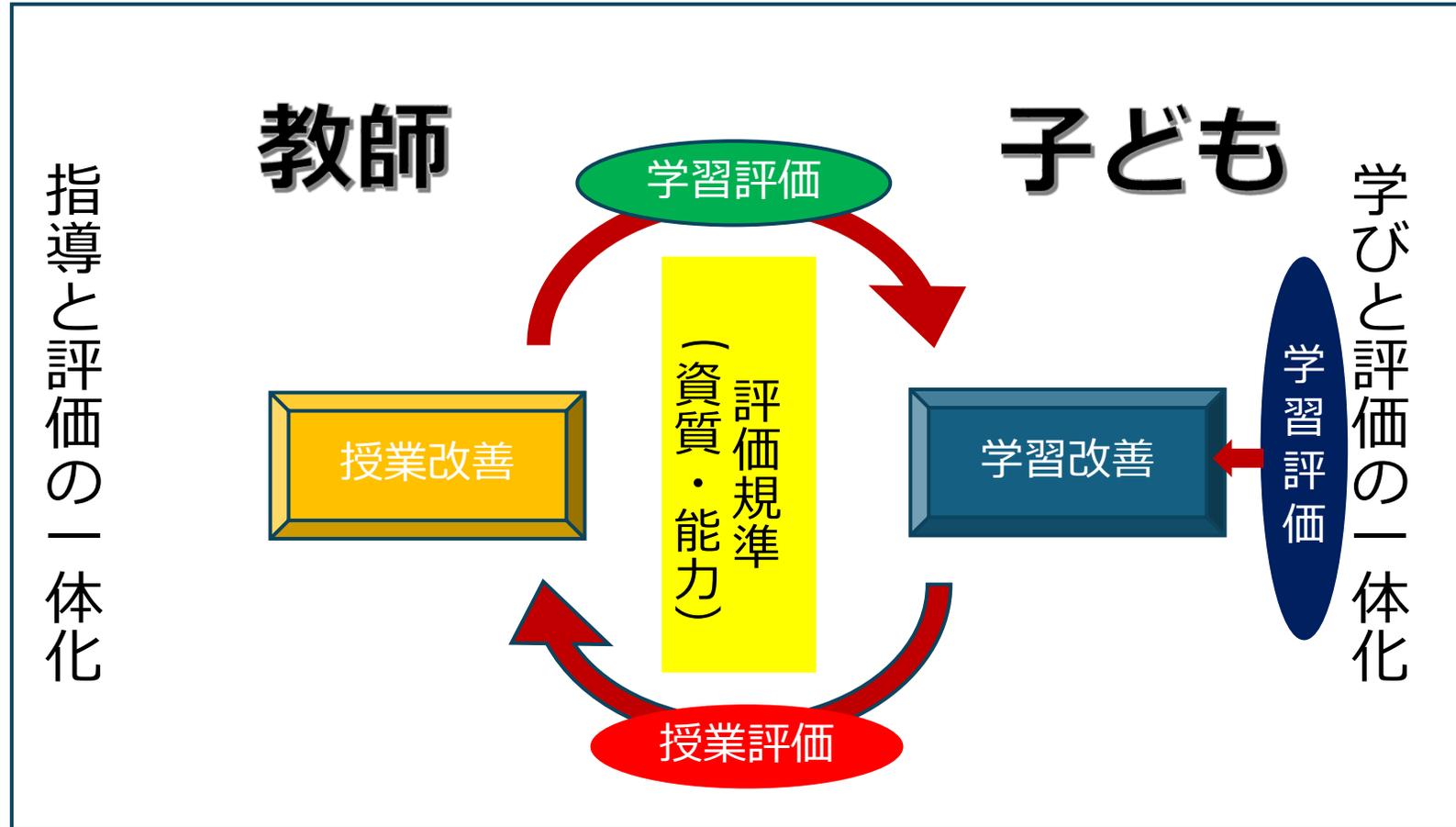
問題解決では多角的思考、知識の活用、調査技術を磨きます。

自己成長では継続的な改善と評価を通じて自らを高めていきます。

個人探究

学習改善と評価履歴

授業改善と学習改善は車の両輪



評価の多様な技法と授業化

- アンケート法
- ルーブリック法
- 付箋紙法
- KJ法
- タブレット法
- 新聞作成法



評価セッション

評価活動の授業化

自己評価力・相互評価力

ルーブリック評価とは

- 判断基準一覧表
- 評価規準をレベル別に整理したもの
- 多様な資質・能力を評価できる
- 質的な評価を量的な評価に変換
- 評定に活用可能

なぜ、ルーブリックか？

- ペーパーテストで測定できない資質・能力
- 高次の資質・能力
- 質的評価を量的評価へ
- 児童・生徒にとっての目標値に
- 資質・能力の意識化
- 学習意欲の高まり
- 説明責任

学習改善シートと評価履歴の活用

- 一人一台端末を用いて、クラウド上に、評価履歴を残していく
- 評価履歴を活用した、自己評価と学習改善のループを回していく
- 学習改善のポイントと具体例の例示
- ルーブリックを用いた学習評価
- クラウドでの継続的なセルフチェック
- 学期末での総括的評価

自律的な学びを生み出す 探究ブック

「R-PDCAサイクル」とは？



学習の手引きの作成と活用

- 大村はまの実践
- 生徒の自律的で主体的な学習を支援する
- 学習の意義、学習の手順、思考と表現の観点、評価の観点、思考と表現の例示
- 紙とデジタル

自己探究

問題意識

- 指示待ちの子ども達が多くなっている
- 子どもの自信や自尊感情が諸外国と比較して低い
- SDGsをはじめとして、子ども達の外的環境に関する教育は多いが、子ども達の内面、内的世界を育む教育はなされていない
- 道徳教育や学級づくりでは、個の内面の状況に即して自己をたくましく育てる学びにはつながらない
- 個に応じた内面性の教育を重視する必要があるのでは？

自己成長力

- なりたい自分や自分の生き方をイメージして自己成長課題を設定し、その解決に向けて学びと自己評価、自己改善をくり返しながらか、周りの人と共に自己成長し続けようとする力

自分で課題を探り、学習計画を立案
自己マネジメント力を養う
「R-PDCAサイクル」

Research (診断)

自分の学習や生活態度について、データを見ながら、どんな課題があるのか、どのくらい成果が出ているのかを客観的に分析する。

Plan (計画)

自分の学習や生活態度を改善するために、項目別に、時間配分を明確にした計画を立てる。

Do (実施)

作成した計画に基づいて、2週間ほど改善計画を実行する。同時に、実行状況を記録に残す。

Check (評価)

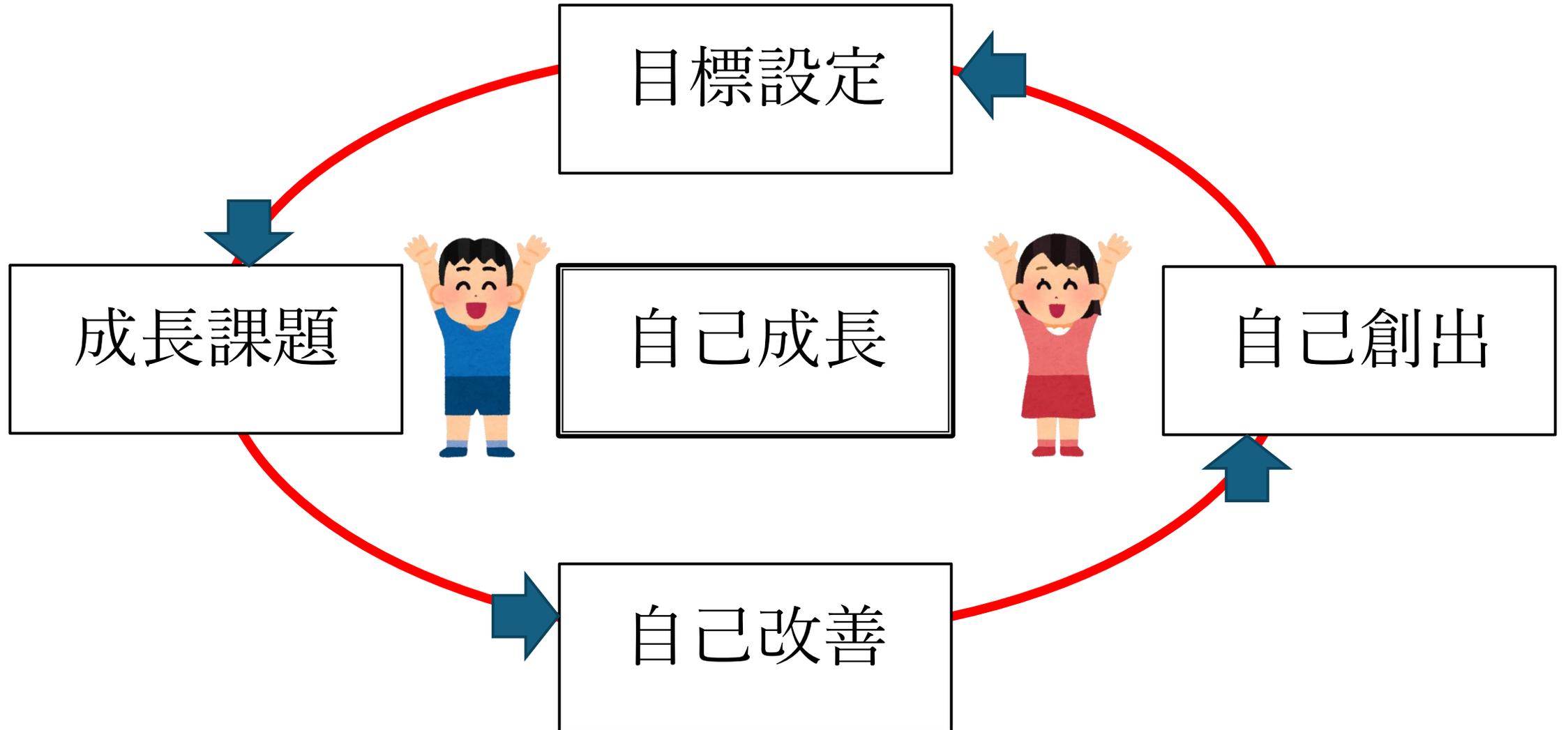
これまで行ってきた、診断・計画・実施のプロセスを振り返り、実行状況の記録も参考にしながら、成果と課題について整理する。

Action (改善)

評価結果を踏まえて、さらなる改善計画を立てて実行する。



自己成長ループモデル



7 領域 1 4 項目

- 成長しようとする力
- 成長の目標をもつ力
- 自分を評価する力
- 自分を創る力
- 周りの人と共に成長する力
- 自分を修正する力
- 心を落ちつかせる力

成長力アンケート

ver. 1.1

成長力アンケート

第 回 (月) 名前

年 組 番

小学校高学年版

◎ このアンケートは、自分が成長していくために大切な力を身に付けているかどうかを自分で振り返るためのものです。それぞれの項目の4～1の数字のあてはまるところに、一つずつ〇をつけましょう。学校の成績とは関係ありませんから、ありのままを答えてください。

4 : とてもあてはまる 3 : 少しあてはまる 2 : あまりあてはまらない 1 : まったくあてはまらない

成長しようとする力

①向上 自分にいろいろな力をつけて成長したいと思っています。 4-3-2-1

②模範 偉人や尊敬する人の生き方に学んで、自分に生かしています。 4-3-2-1

成長の目標をもつ力

③目標 自分のことについて、のびたいところやがんばりたい目標があります。 4-3-2-1

④夢 私にはしょうらいの夢ややってみたい仕事があります。 4-3-2-1

自分を評価する力

⑤理解 自分の長所や短所、とくいなことやがてなことがわかっています。 4-3-2-1

⑥評価 自分はこれまで成長してきたらうかと、ふり返っています。 4-3-2-1

自分を創る力

⑦改善 いつも学習のしかたや生活のしかたを、よりよくしようと努力しています。 4-3-2-1

⑧行動 自分の目標をたっせいしたり夢をかなえたりするために行動しています。 4-3-2-1

友だちと共に成長する力

⑨協力 友だちとともに成長できるように、協力したり励まし合ったりしています。 4-3-2-1

⑩学び 友だちの生き方や友だちからもらったアドバイスに学んでいます。 4-3-2-1

自分を修正する力

⑪注意 同じ失敗やまちがいをしないように注意しています。 4-3-2-1

⑫努力 自分の短所や苦手なことをなくすために努力しています。 4-3-2-1

心を落ちつかせる力

⑬安定 イライラしたり心配したりしても、静かに心を落ちつけられます。 4-3-2-1

⑭元気 失敗したりまちがえたりしても、また元気になってがんばることができます。 4-3-2-1

ver. 1.2

成長力アンケート

第 回 (月) 名前

年 組 番

中学生版 基礎編

◎ このアンケートは、自分が成長していくために大切な力を身に付けているかどうかを自分で振り返るためのものです。それぞれの項目の4～1の数字のあてはまるところに、一つずつ〇をつけましょう。学校の成績とは関係ありませんから、ありのままを答えてください。

4 : とてもあてはまる 3 : 少しあてはまる 2 : あまりあてはまらない 1 : まったくあてはまらない

成長しようとする力

①向上 自分にいろいろな力をつけて成長したいと思っています。 4-3-2-1

②模範 偉人や尊敬する人の生き方に学んで、自分に生かしています。 4-3-2-1

成長の目標をもつ力

③目標 自分のことについて、のびたいところやがんばりたい目標があります。 4-3-2-1

④夢 私には将来の夢ややってみたい仕事があります。 4-3-2-1

自分を評価する力

⑤理解 自分の長所や短所、得意なことや苦手なことがわかっています。 4-3-2-1

⑥評価 自分はこれまで成長してきたらうかと、ふり返っています。 4-3-2-1

自分を創る力

⑦改善 いつも学習のしかたや生活のしかたを、よりよくしようと努力しています。 4-3-2-1

⑧行動 自分の目標を達成したり夢をかなえたりするために行動しています。 4-3-2-1

周りの人と共に成長する力

⑨協力 周りの人と共に成長できるように、協力したり励まし合ったりしています。 4-3-2-1

⑩学び 周りの人の生き方や周りの人からもらったアドバイスに学んでいます。 4-3-2-1

自分を修正する力

⑪注意 同じ失敗やまちがいをしないように注意しています。 4-3-2-1

⑫努力 自分の短所や苦手なことをなくすために努力しています。 4-3-2-1

心を落ちつかせる力

⑬安定 イライラしたり心配したりしても、静かに心を落ちつけられます。 4-3-2-1

⑭元気 失敗したりまちがえたりしても、また元気になってがんばることができます。 4-3-2-1

成長力レーダーチャート

成長力自己評価シートの結果		成長力アンケート 自己評価シートの結果										0 年 0 組 1 番 氏名 〇	
		第1回		第2回		第3回		第4回		今までの平均値 (クラスの平均)			
		回答	平均値	回答	平均値	回答	平均値	回答	平均値	回答	平均値		
成長しようとする力	①向上	自分にはいろいろな力をつけて成長したいと思っています。	3	2.5					3.0	2.5			
	②模範	偉人や尊敬する人の生き方に学んで、自分に生かしています。	2	(2.3)					2.0	(2.3)			
成長の目標をもつ力	③目標	自分のことについて、伸ばしたいところやがんばりたい目標があります。	3	3.0					3.0	3.0			
	④夢	私にはしょうらいの夢ややりたい仕事があります。	3	(2.8)					3.0	(2.8)			
自分を評価する力	⑤理解	自分の長所や短所、とくいなことやにがてなことがわかっています。	4	3.5					4.0	3.5			
	⑥評価	自分はこれまで成長してきたかどうか、ふり返っています。	3	(3.3)					3.0	(3.3)			
自分を創る力	⑦改善	いつもの学習のしかたや生活のしかたを、よりよくしようと努力しています。	3	2.5					3.0	2.5			
	⑧行動	自分の目標をたっせいしたり夢をかなえたりするために行動しています。	2	(2.3)					2.0	(2.3)			
友だちと共に成長する力	⑨協力	友だちとともに成長できるように、協力したり励まし合ったりしています。	3	3.0					3.0	3.0			
	⑩学び	友だちの生き方や友だちからもらったアドバイスを学んでいます。	3	(2.8)					3.0	(2.8)			
自分を修正する力	⑪注意	同じ失敗やまちがいをしないように注意しています。	4	3.5					4.0	3.5			
	⑫努力	自分の短所や苦手なことをなくすために努力しています。	3	(3.3)					3.0	(3.3)			
心を落ち着かせる力	⑬安定	イライラしたり心配したりしても、静かに心を落ち着けられます。	3	3.0					3.0	3.0			
	⑭元気	失敗したりまちえたりしても、まだ元気がなくなってがんばることができます。	3	(2.8)					3.0	(2.8)			

—個人結果とクラス平均—

この集計シートは、「成長力アンケート」の結果を個人別にまとめたものです。

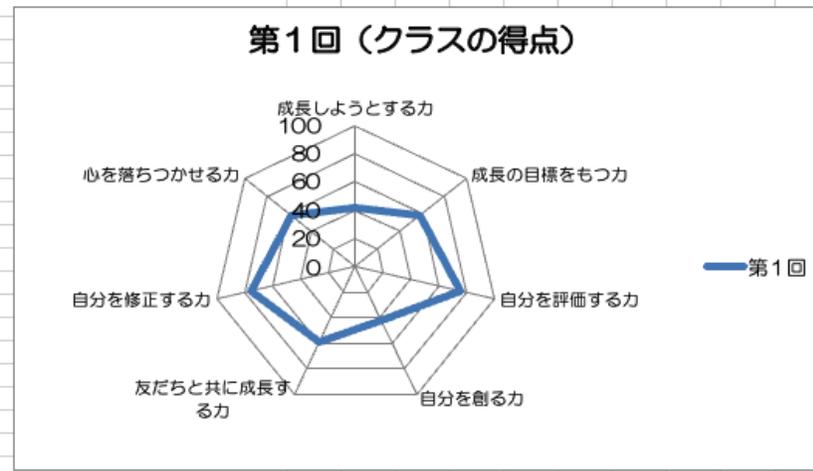
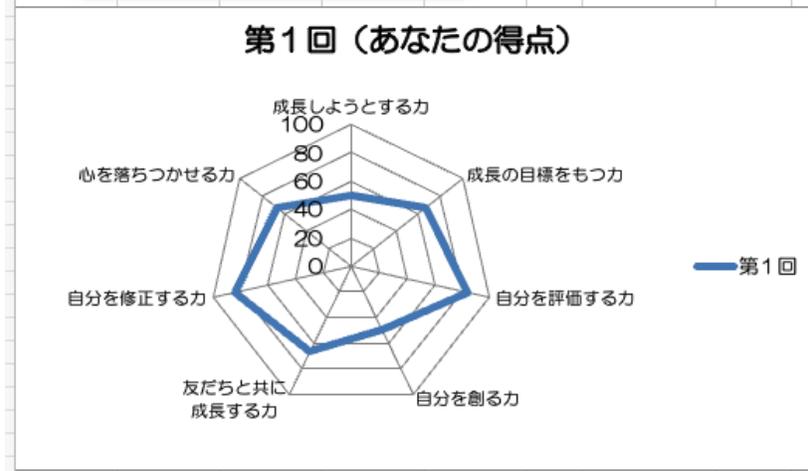
(グラフや表の見方)

① レーダーチャートは、それぞれの力の領域の平均を示しています。
(左下：あなた、右下：クラス)

② 自分のレーダーチャートの形や大きさを見たり、2つのレーダーチャートを比べたりしましょう。

③ かわいい数値は、右上の表に示しています。

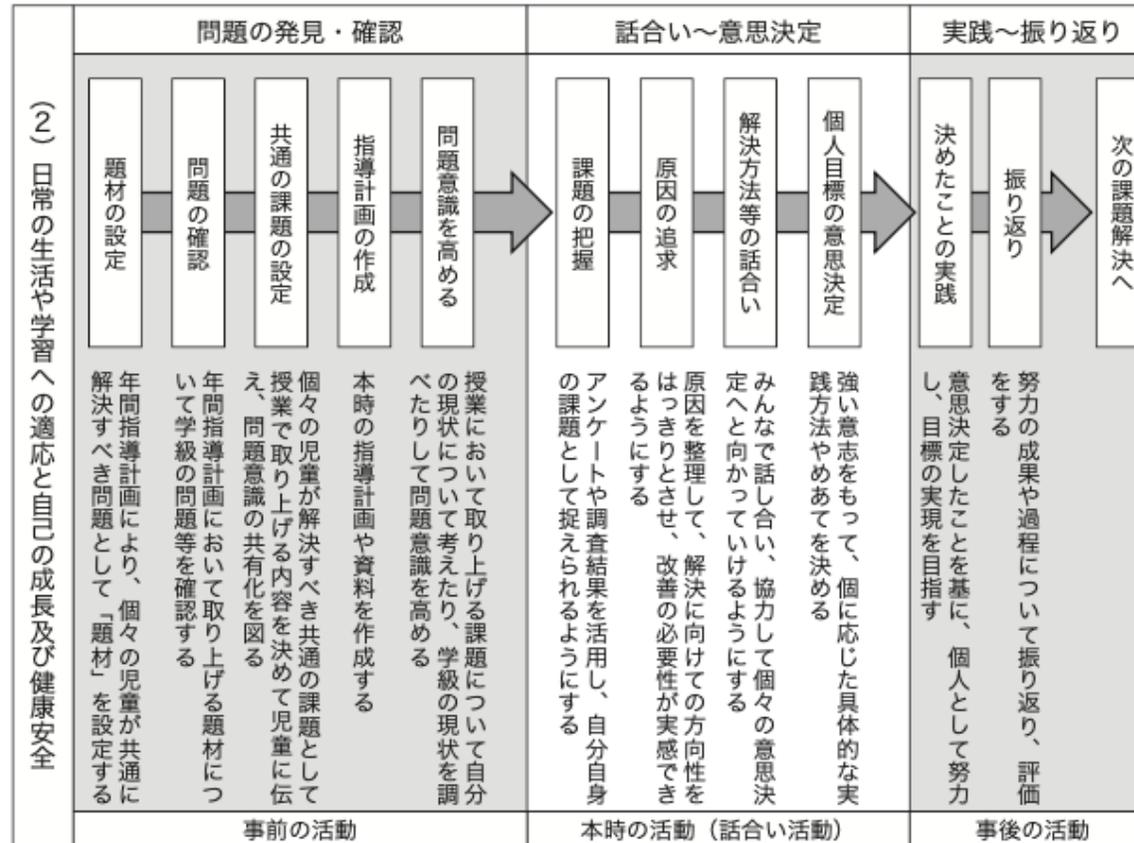
④ この集計シートをもとにして、自分の成長の様子をふりかえりましょう。



学級活動（2）

日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

（ア）自他の個性の理解と尊重，よりよい人間関係の形成



自己成長学習

- 子どもの個性そのものを見つめ表現する
- 友だちから認められて成長する
- 生活科での成長単元
- 特別活動における学級活動（2）
- 総合的な学習の時間でのカリキュラム化

成長力を伸ばす活動アイデア

① 成長動機を伸ばす

• こつこつトライ

毎日少しずつ取り組める読書、ドリル練習、ランニング、学期演奏など簡単な努力やチャレンジを決めて、その進捗状況や達成状況を1ヶ月程度記録につけ成果をお祝いする。

• 苦手チャレンジ

自分にとって苦手な勉強や運動、もっと上手になりたい趣味や習い事などから達成目標を決めて、定期的に努力を重ねていき、その様子を自己評価カードにつけるとともに成果をお祝いする。

• 伝記を読む

自分が尊敬する偉人を選んでその人の伝記を読み、そこから自分に生かせる生き方や考え方を学ぶとともに、偉人の名言を書き写してその意味を深く考えて友だちと意見交流をする。

• 名言を学んで座右の銘を作ろう！

偉人が残した名言集の本を読んだり、ネット検索をして名言について調べたりして、尊敬する生き方を具体的に学び、これからの自分の生き方に反映させた座右の銘を自分の言葉で作り、友だちと交流する。

• 壁を乗り越えたお話

地域の人や家族から子ども時代にどのような成長の壁にぶつかりどのようにしてそれを乗り越えたのかをインタビューして、人間としてのたくましい生き方に学ぶとともに、自分も壁を乗り越えた経験を書いて交流する。

『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して （中央教育審議会答申）』（令和 3 年 1 月）

- 「子供が自らのこれまでの成長を振り返り， 将来への展望を培うとともに， 自己肯定感を育むなどの取組も大切である。」
（p.19）
- 「自身の変容や成長を自己評価する学習活動などを充実していくことが求められる。」（p.42）
- 「探究学習の過程を重視し， その過程で生じた疑問や思考の過程などを生徒に記録させ， 自己の成長の過程を認識できるようにする（中略）ことが重要である。」（p.58）

参考文献

- 田中博之著『アクティブ・ラーニング「深い学び」実践の手引き』教育開発研究所、2017年
- 田中博之著『「主体的・対話的で深い学び」学習評価の手引き』教育開発研究所、2020年
- 田中博之編著『高等学校 探究授業の創り方』学事出版、2021年
- 田中博之著『子どもの自己成長力を育てる』金子書房、2023年
- 田中博之編著『中学校の学習評価ハンドブック』学事出版、2024年
- 田中博之著『教師のためのChatGPT活用術』学陽書房、2024年



ご清聴ありがとうございました

お問い合わせ

hiroyuki@waseda.jp

<https://ai-education.jp/>